

ぶどうの木

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節より



目次

- 理事長挨拶
- 浜松建て替え進捗
- ワークショップマナ特集
- 各事業所のトピックス
- 十字の園職員紹介"VOICE"
- 永年勤続職員紹介
- 幸せレシピ：アドナイ館編
- 寄附報告・あとがき

「共に生きる」
ワークショップマナ



「わたしたちに必要な糧を 今日与えてください。」

マタイによる福音書 6章11節

Suzuki Atsushi

理事長 鈴木 淳司

現代は過度に与えられ、必要なものが見え難くなっているかもしれません。糧としての食べ物も、有り余るものから嗜好や健康に良いなど、選ぶ事が先に立ち、与えられる喜びは薄らいでいるように思います。

食べ物が無く貧困に苦しんでいる人は、得るために生き、得られない現実と向き合います。必要な糧を今日与えてくださいとの祈りは、切なる願いとなつて貧しい方々の間で響きます。選ぶ事に心が奪われていると、他者の必要に思いを向けることが難しく、知らないうちに私たちは、世界の仲間の誰かの労苦の上に動植物の糧を得て、命を分かち合い支えられていることの大切さから離れて生活をしています。

しかし、命は誰かの犠牲の上に繋がれて、唯々感謝するしかない謙虚さの中で世界と結ばれています。

イエス様は、分かち合い食すること大切にされました。そしてご自身のことを命のパンと言われ、食する時には、一人でも、大勢でも、イエス様が共にいて命を分かち食べられたことを思い出し、与えられた恵に神様と喜びの中で食べなさいと教えてくださっています。

私たち十字の園は、礼拝を通して、今日のパンを分け与えられる感謝と喜びに、職員、利用者の区別なく満たされて、これからも与えられた今日を、一日大目に紡いで参りたいと思います。

教会で大切にされ、特別な意味を持って礼拝を捧げる祭りには、クリスマスのほかにイースターとペンテコステがあります。クリスマス以外は聖書の記述から日付を割り出せますが、クリスマスだけはそうではないために各地で様々な時期に祝われていました。日付を統一しようという機運は四世紀に生じます。有力な候補の一つは6月でした。羊飼いが野宿していたという聖書の描写から、冬ではないだろうというわけです。しかし最終的に12月25日が選ばれました（博士の到来に合わせ1月6日に祝う教会もあります）。夜が長い冬至のころに「希望の主が生まれた」という象徴的な意味が、人々の心に深く響いたからです。聖書には「人は衰え、キリストは栄える」とあります。人間の作り出した希望ではなく、主が与えた希望によって、生活に光が増します。キリストの誕生にこそ私たちの希望があるのです。

日本キリスト教団伊東教会牧師 上田 彰

機関誌 ぶどうの木について

ヨハネによる福音書15章に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とあります。ぶどうの木のたとえ話は、神様と私たちのつながりを表しております。神様との結びつきの中で、皆様と一緒に多くの実を結べることを喜びたい、その様な思いから機関誌名を「ぶどうの木」としました。

表紙写真の説明

縫製作業をパチリ！さをりの生地をご自分で織り、バッグを作成しています。「さをり織りもバッグも作ったことがあります。マナに来て職員に教わることで、一人でも作れるようになりました！」ご自分で一から製作したバッグが売れて、とても嬉しいと。悩み事があつても職員に相談しながら、楽しく通所されています。

浜松十字の園さつき棟改築工事について

☆工事は順調に進んでいます☆

進捗状況

- 5月29日 入札が行われ、中村建設株式会社に工事会社が決定。
- 6月 さつき棟から利用者、事務所、相談室が本館棟へ引っ越し。
- 6月25日 さつき棟お別れ感謝会



十字の園OB、OG、関係者の方、現任職員にてさつき棟への感謝の気持ちと、思い出を語り合いました。



集会室は仮設の4人部屋となり、礼拝は1階エレベーター前で行っています。

7~9月 さつき棟解体工事



- 9月30日 非常用自家発電設備整備工事
入札により施工会社は株式会社鈴木電工に決定。（改修工事に合わせてリニューアル）
- 10月10日 起工式
- 10月13日 新さつき棟建築工事開始



数か月前まで当たり前のようにあったさつき棟の場所が更地となり、これから新しいさつき棟の建築工事が始まります。



2026年12月 新さつき棟完成

新しい建物へ引っ越し（40床）。
厨房もリニューアルされます。

- 2027年3月 本体施設の改修
(事務所・相談室、来客用の玄関等が新しくなります。)
- 2027年4月 リニューアルオープン



ワークショップマナ

「ワークショップマナ」は、就労継続支援B型という就労経験のある障がいのある方に対し、生産活動などに必要な訓練などを行う事業所です。(定員20名) 松崎町の隣、西伊豆町田子(旧田子中学校内)にあり、クッキーやパンの製造販売の他、縫製、陶芸、鉄工、野菜作りなどを行っています。火、金曜日は「うさぎビル」(松崎町宮内 賀茂郡松崎町宮内字向濱352番4)で店舗販売も行っています。

パン工房

マナのパンは100%国産小麦(北海道産)を使用しているので香り豊かで生地はフワフワです。地域の方に愛されるパンをめざして、菓子パンや総菜パンはすべて100円という価格で販売をされています。



木工

杉板を加工して紙やすりで磨き、バーナーで焼いたらきれいに磨き上げて鍋敷きやコースターを作っています。あじの鍋敷きは授産製品コンクールで県知事賞を頂いたこともあります。



縫製

さをり織りや刺し子など手先の器用な方が縫製の作業をしています。ミシンを使用してバッグや腕力バーなども作っています。



農作業

暑い日も寒い日も畠におもむいて季節の野菜を作っています。



陶芸

紐づくり技法での茶碗やブロック花瓶など、ご利用者の個性を生かした作品を作っています。絵の得意なご利用者はお皿のデザインをしています。



2025年度

第29回

十字の園大会/大会報告



大会日程

2025年10月24日 (金)

御殿場高原時の栖 御殿場高原ホテル かえでの間 (1F)

10月24日、十字の園大会が行われ、今年は御殿場開催ということで総勢50名近くが集まりました。私たちはご利用者との出会いの中で、“音楽”的な力が私たちを結び付けるものになることを知りました。今回ホスピスで音楽を通して人と人とのハーモニーをつくってきた中山ヒサ子先生、中島眞由美先生に「響き合う 風のしらべ～十字の園に こころの花を咲かせましょう～」と題して講演をしていただきました。

開会に際して、御殿場教会の小林牧師による礼拝が行われ、サウル王をなぐさめたダビデの豊饒のお話を通じてキリストの慰めの器としての私たちの働きをお話くださり大変励まされました

が、なんとそのお話は中山先生のお話と結びついて、先生の講演の中でも登場しました！

中山先生の講演では、音楽の力の具体的な働きとして研究成果をもとにお話しして下さり、その実践を映像で紹介くださいました。講演で少し緊張した中、休憩前にアイスブレイクをし、午後に向けたチーム分けを行い、参加者の空気も少しずつ柔らかくなっていました。

午後の部では、実践タイム！みんなで演奏に合わせて楽器を用いてリズムを取ったり、歌をうたったりと参加者全員で楽しい時間を体感できました。その後、グループワークでは、本公演を聞き、今後どのように活かせるかを話し合い、お互いの施設や役割ならではの意見を聞き、共有発表しました。

音楽療法はお腹の赤ちゃんから高齢者、生まれる前から人生を旅立つその時まで、様々な幅広い領域の方たちに対して、私たちの生きる力を引き出し、互いを結び付ける力を発揮します。今回感じたのは楽器を工夫し使用することで音楽の幅はより広い物になると感じました。今後ご利用者に対して、これまでとは違ったアプローチも展開できるのではないかと思い、とても実りのある充実した大会になりました。

今大会を準備するにあたり、協力してくださった皆様、参加して下さった皆様、先生方、本当にありがとうございました。はじめての実行委員長ということもあり至らない点もあったかと思いますが。皆様のおかげで無事大会を終えることが出来ました。

今後も同じ十字の園の仲間としてよろしくお願いします。



中山ヒサ子先生



中山先生と一緒に記念撮影



御殿場開催

2025年度 十字の園大会 日程

時 間	備 考
10:00 ~ 10:30	受付
10:30 ~ 10:50	開会礼拝 日本基督教団御殿場教会 牧師 小林 隆史 氏
10:50 ~ 11:00	開会の挨拶 大会実行委員長 西方 世耶
	理事長挨拶 鈴木淳司
11:00 ~ 12:00	基調講演 「響き合う 風のしらべ ～十字の園にこころの花を咲かせましょう～」 演者：音楽療法家 中山ヒサ子氏 コ・セラピスト 中島眞由美氏
12:00 ~ 13:00	昼食
13:00 ~ 14:00	実践タイム♪ 音楽療法家 中山ヒサ子氏 コ・セラピスト 中島眞由美氏
14:00 ~ 15:10	グループシェアトークタイム 増井知子
15:10 ~ 15:20	講評 御殿場十字の園 施設長 宮島克利
15:20 ~ 15:25	次回案内 伊豆高原十字の園 施設長 岩本佑太
15:25 ~ 15:30	閉会挨拶 大会実行委員長 西方世耶

研修の様子



小林牧師説教



お昼ご飯は富士山弁当



仲間！集合写真

各施設のクリスマスの様子

養

創立の頃



50年前(1971)の
浜松ディアコニッセ母の家のツリー

50年前(1971)の
浜松十字の園のツリー

1953（昭和28）年ドイツより5人のディアコニッセが来園され礼拝と共にしたる様になり、ハニ姉妹を中心に学生へドイツ風のツリーの作製指導が行われた。枝ぶりのよい松の木を周辺から切り、紙で作った星や雪の結晶、リンゴ、麦わらで作った星を飾り、大きな星はトップスターとして木の一番上に飾った。また、銀の細い糸状のモール（天使の足あと）を乗せ、ドイツ製のローソク立てにローソクを灯したのがドイツ風クリスマスツリーの始まりとなった。

浜松



浜松十字の園では、生のモミの木と、りんご（紅玉）、グラシン紙の飾りとキャンドルの、シンプルなツリーを飾っています。また、クランツは十字の園の園内に生えているスギ、モミ、セイヨウヒイラギなどを集めて手作りします

御殿場



ドイツ式クリスマスツリー・クランツと点灯式の様子です。かつては生のモミの木を入れ、本格的なドイツの伝統を感じられる温かな雰囲気の中で点灯式を行っていました。しかし、長年お世話になっていた仕入れ先の閉店や、ローソクによる小さな火災騒ぎをきっかけに、現在はやむを得ず生木の使用を控えています。それでも、あの生木ならではの香りとぬくもりをもう一度感じながら、再び安全にドイツ式のクリスマスを楽しめる日が来ることを心から願っています。

松崎



松崎十字の園・オリブでは2002年の開設以来、松崎教会の教員やこども教會の皆さんとともに礼拝を行い、祝会では降誕劇やクリスマスソングなども交え、ご利用者と一緒に暖かい雰囲気の中、クリスマスのひとときを過ごしています。待降節に入ると、毎週（一週目は日曜、二～四週目は金曜）ロウソクを片手に讃美歌を歌いながら館内に明かりを灯すアドベントクワイアを行っています。クリスマスツリーは生木のモミの木に生のりんごを吊るし、最上部にあるベツレヘムの星から天使の足跡、職員の手作りオーナメントで伝統的なドイツ式のツリーにしています。



アドナイ館



伝統的なドイツ式のクリスマスツリーとクランツです。創立時に思いを馳せながら、入居者と職員が一緒になって飾り付けます。ろうそくの柔らかな灯りに包まれて、厳かに礼拝が執り行われます。

第2アドナイ館



第2アドナイ館では、毎年、ご入居者と職員と一緒に飾りつけを行うことが恒例となっています。開設当初から使用している飾りを、壊さないように、大切に、大切に飾り付けています。



伊豆高原



伊豆高原十字の園では、毎年秋を迎える頃、クリスマス実行委員会を開催し、モミの木やリンゴの発注、ヒイラギやセンリョウといったクランツの材料の手配、リンゴ磨きやツリーの飾りつけ、リンゴも鮮度を見ながら交換するなど、役割を分担しながら大切にツリーを維持しています。入居利用者、来園したご家族等にも実物を観てもらい、とても好評です。

クリスマス礼拝では、新職員が天使に扮し、飾られたろうそくに火を灯し、特別な雰囲気に包れます。日暮れから夜にかけて、中庭には電飾係の職員が設置したイルミネーションも光り輝き、遅番職員や夜勤の職員も癒され、忙しいながらも素敵なクリスマスを毎年迎えています。

平和の杜



クリスマスについて入居者さんに聞いてみました。

- ・飾り付けやツリーはどうですか？
「みんなで作った飾りを盛大に飾るのが楽しい。ツリーもリンゴや雪の結晶のツリーは素敵だね。礼拝でロウソクを順に点けるのも厳かな雰囲気ですごくいいね」
- ・食事やプレゼントは？
「普段より凝ったごちそうやケーキがとても美味しい。プレゼントはお菓子がいいなあ」「一番盛大な行事だからワクワクするね」
- ・そんなクリスマスがやって来ます。



Vol. 12

【材料1人分】

FOODSTUFF

あなご	1本
しとう	1本
しいたけ	1ヶ
天ぷら粉	適量
小麦粉	打ち粉用
揚げ油	適量
てんつゆ	好みで

【作り方】

- ① あなごを食べやすい大きさにあらかじめ切っておく。しいたけは石突を取り飾り切りをする。しとうは余分なヘタを取りつまようじなどで穴をあけておく。
- ② てんぷら粉を水で溶き準備をする。
- ③ 材料に打ち粉をして②にくぐらせ、170~180°Cの油で揚げる。
- ④ 揚げ終わったら余分な油をよく切り、盛り付ける。

アドナイ館
編集部

幸せレシピ

田舎メニュー
「天ぷら盛り合わせ」

アドナイ館の敬老行事「希望の日」にお出しした人気献立「天ぷら盛り合わせ」を紹介します。天ぷらは、あなご、しとう、しいたけ。ほかに、栗入りの赤飯、ごま豆腐、すまし汁、和菓子が今回の献立です。

POINT

天ぷら粉は冷水で溶くとさっくりとした食感になります。また、しとうに穴をあけておくのは、中の空気が温められて破裂するのを防ぐためです。



法人リーダー研修報告



2025年9月4、5日、法人リーダー研修がアドナイ館、遠州栄光教会で行われました。法人の各施設から浜松2名、御殿場6名、伊豆高原2名、平和の杜1名、松崎2名の計13名の職員が参加しました。

1日目は聖隸歴史資料館、十字の園資料館見学にて理念に立ち返り、夜は懇親会を行い、参加者同士の親睦を深めました。2日目は承認力について学び、事例検討のグループワークを行い、最後に行動指針の作成を行いました。

次期リーダー及び新任リーダーが参加対象者ということもあり、グループワークはとてもスムーズに進められ、また、日頃の悩みを話し合う様子も見られ、楽しく実りのある研修になったかと思います。

台風の影響で県東部の参加者の帰りが遅くなってしましましたが無事に帰宅されて何よりでした。



ご寄附のお願い

温かいご支援に
感謝いたします

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 鈴木淳司

振込口座 静岡銀行細江支店 普通 0015345



今年も一年の締めくくりとなる季節を迎えました。今号ではワークショップマナの取り組みや各施設のクリスマスの様子をお届けしています。今年は広報部会へ初めて参加し誌面作りの中にたくさんの思いが込められている事を実感しました。来年もいろんなことにチャレンジしていきたいと思います。新しい年も希望の光に包まれた穏やかな日々となりますように。

(伊豆高原十字の園)